



笛吹市

議会だより

平成19年4月23日発行

2007

Vol.10

GIKAI DAYORI

笛吹市役所に聞いてみました。
笛吹川の河川敷に観覧席が完成しました。
規模や使い方など、どのように考えていますか？



FUEFUKI CITY



笛吹市

議会だより 2007 Vol.10

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

荻野市長・施政方針 3

3月定例議会で決まったこと 4 ~ 7

会派代表質問(6会派) 8 ~ 13

 新和会 公明党 日本共産党笛吹市議団 笛政クラブ

 正鶴会 清新会

一般質問(11議員) 14 ~ 19

 渡邊 清美議員 大久保俊雄議員 渡辺 正秀議員

 松澤 隆一議員 山崎 光世議員 山本 富貴議員

 石倉 泰明議員 新田 治江議員 日高せい子議員

 前島 敏彦議員 内藤 武寛議員

委員会レポート 20 ~ 21

笛吹市役所に聞いてみました/編集コラム・笛吹川 22

あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



議会日誌 GIKAI diary

12月 December

1日	東山梨地区広域農道建設推進協議会
6日	全員協議会
8日	議会改革検討委員会
14日	笛吹市総合計画審議会
14 ~ 15日	各常任委員会
18日	決算委員会
19日	御坂地区児童館建設検討委員会
20日	西関東連絡道路記念式典・開通式 桃の花まつり実行委員会
22日	釈迦堂遺跡博物館組合議会 通学区域検討委員会
27日	建設経済常任委員会 全員協議会
28日	御用納め

1月 January

4日	仕事始め
6日	消防団出初式
7日	笛吹市成人式
16日	議会改革検討委員会 地域福祉計画策定審議会
17日	議会だより編集委員会
22日	建設経済常任委員会
23日	学校保健委員会
26日	春日居駅周辺まちづくり検討委員会
30日	笛吹市女性議会
31日	建設経済常任委員会 全員協議会

2月 February

1日	峡東地域広域水道企業団視察研修
2日	議員・男女共同参画委員意見交換会
6日	広報編集委員会視察研修
9日	埼玉県鶴ヶ島市議会研修(来庁)
15日	青木が原ごみ処理組合議会
16日	県市議会議長会議員研修会
19日	教育厚生常任委員会
20日	総務常任委員会
22日	春日居地区保育所建設検討委員会
23日	議会運営委員会 峡東地域広域水道企業団全員協議会
26日	東山梨行政事務組合議会
27日	建設経済常任委員会
28日	笛吹市文化財保全整備委員会

3月議会・会期日程

2月23日(金)	議会運営委員会
3月2日(金)	開会
	・本会議
	・市長所信表明
	・会議録署名議員の指名
	・会期の決定
	・提出議案の説明
	・総括質疑・討論・採決・付託
3月5日(月)	・本会議
3月6日(火)	・本会議 会派代表質問
3月7日(水)	・本会議 一般質問
3月7日(水) ~ 8日(木)	・各常任委員会 付託案件・事件審査
3月12日(月)	・本会議
3月13日(火) ~ 16日(金)	・委員会付託案件・事件審査
3月20日(火)	・質疑・討論・採決
	・本会議
	・各委員会審査報告
	・質疑・討論・採決
	・閉会

荻野市長の施政方針

頑張る地方を目指し、 成果指標を明らかに して取り組む



鵜飼橋 松本線（遠妙寺交差点付近）

郷土の生んだ現代俳句を代表する俳人、飯田龍太氏のご逝去を悼み、深く哀悼の意を表します。
安倍内閣が目指す「美しい国、日本」の実現に向け各種政策が推進され、「日本経済の進路と戦略」新たな「創造と成長」への道筋は、今後のわが国が目指すべき経済社会の姿であり、改革の方針を示したものです。
国では魅力ある地方の創出について、地方が自ら考え実行できる「頑張る地方応援プログラム」をスタートしましたが、笛吹市としても前向きに取り組んでいきたいと考えています。

市政当面の課題と報告

① 笛吹らしさの追求

第一次笛吹市総合計画を策定し、市の指針を示して諸施策を展開していきます。「石和温泉駅周辺整備事業」の推進や「地域づくり推進事業」など、主体的な地域活動を促進し、笛吹市らしさを追求していきます。

② さらになる行政改革の推進

「事務事業評価」を、予算への反映や総合計画を基にした「施策評価」へ繋げ、財務諸表を作成して市の資産、債務管理に活用する財政健全化の推進と、連結財務諸表の策定を行っていきます。

③ 安全と安心のまちづくり

バス路線再編整備計画により、本格運用に向け取り組みます。また、風水害誌の作成や、大規模災害時（地震）職員初動マニュアルを策定します。

④ 快適な生活環境づくり

「ごみ減量化推進事業」を進め、廃食用油精製プラントを活用し、BDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）に再生し、廃食用油収集を検討していきます。

⑤ 活力と交流の都市基盤づくり

市道路線の整備・改良事業、西田川の河川改修の用地買収と工事着工、都市計画マスタープランの早期策定などを進めます。また、木造建築物の耐震診断や、笛吹川河道内の雑木除去作業、石和駅前広場の整備・サインの設置、上水道事業を一本化し、生活水準の確保と向上に努めます。

⑥ 快適で安心な暮らしづくり

本年は第3期介護保険事業計

画の中間年となり、各種計画に基づき、地域密着型サービスの基盤整備を図っていきます。

⑦ 活力と交流の産業づくり

豊かな自然を生かし、都市住民との交流を進め、地域住民との共生を図りながら、果樹のふるさととしてのブランド形成を図るための施策を展開していきます。

⑧ 子育て支援、教育の充実

19年度から「ファミリーサポート事業」、「病後児保育事業」を開始、乳児保育や延長保育の拡充など、さらなる保育サービスの充実を図ります。

⑨ 教育方針の確立、組織・体制づくり

新たな市の将来を見据えた教育方針の確立と、組織・体制づくりを行い、「安心、安全な学校環境の整備」に力を注ぎます。生涯学習やスポーツ振興、図書館などの利便性の向上も図っていきます。

3月定例会における荻野市長の施政方針を要約したものです。

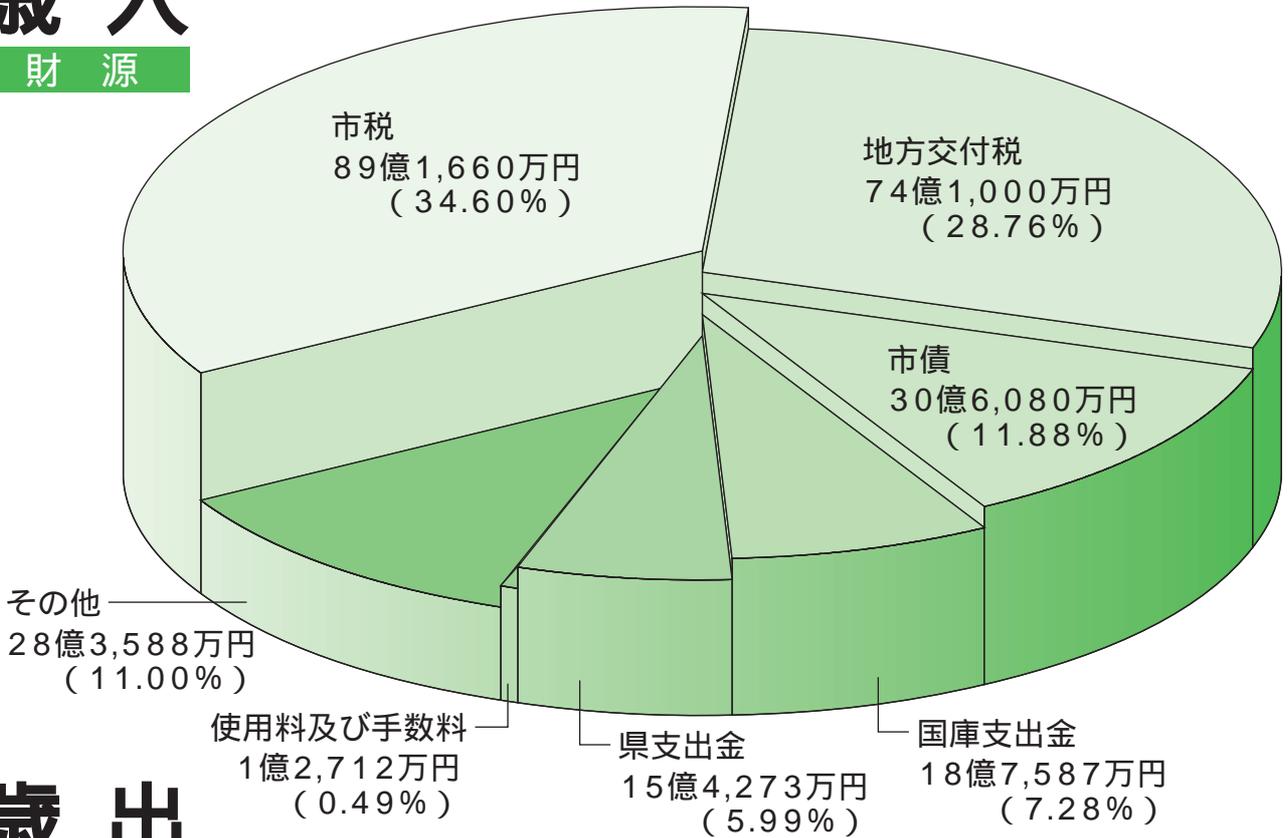
一般会計

257億6,900万円を可決

前年度比1.01%増

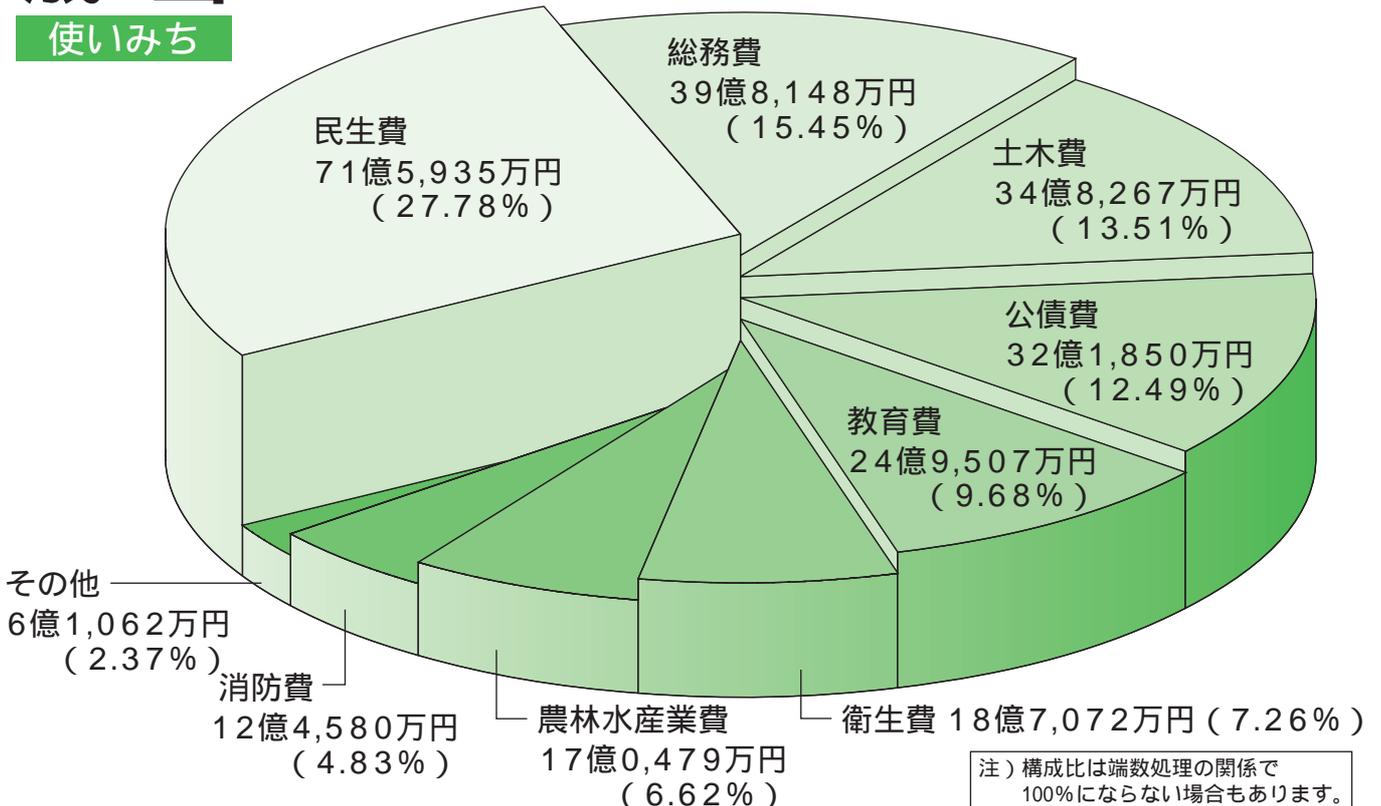
歳入

財源



歳出

使いみち



注) 構成比は端数処理の関係で100%にならない場合もあります。

3月定例市議会

19年度当初予算

特別会計

(単位：千円)

国民健康保険会計	歳入の内訳	保険税 25億1,509万0 (32.63%) 国庫支出金 22億8,732万0 (29.67%) 共同事業交付金 10億8,139万9 (14.03%) 療養給付費交付金 8億7,305万1 (11.33%) 繰入金 4億7,318万9 (6.14%) その他 4億7,839万2 (6.21%) 合計 77億0,844万1 (100.00%)	歳入の内訳	支払基金交付金 31億0,774万9 (52.30%) 国庫支出金 18億7,366万2 (31.53%) 繰入金 4億9,367万9 (8.31%) 県支出金 4億6,747万5 (7.87%) その他 7 (0.00%) 合計 59億4,257万2 (100.00%)
	歳出の内訳	保険給付費 45億4,292万0 (58.93%) 老人保健拠出金 13億3,791万0 (17.36%) 共同事業交付金 10億6,625万8 (13.83%) 介護納付金 5億2,371万1 (6.79%) その他 2億3,764万2 (3.08%) 合計 77億0,844万1 (100.00%)	歳出の内訳	医療諸費 59億1,260万5 (99.50%) 総務費 2,407万0 (0.41%) 予備費 589万0 (0.10%) 諸支出金 7 (0.00%) 合計 59億4,257万2 (100.00%)
介護保険会計	歳入の内訳	支払基金交付金 11億0,130万7 (29.27%) 国庫支出金 8億6,895万8 (23.09%) 介護保険料 6億8,340万0 (18.16%) 繰入金 5億8,764万7 (15.62%) 県支出金 5億2,127万0 (13.85%) その他 12万5 (0.00%) 合計 37億6,270万7 (100.00%)	歳入の内訳	サービス収入 2,016万1 (99.99%) 諸収入 2 (0.00%) 合計 2,016万3 (100.00%)
	歳出の内訳	保険給付費 35億1,106万9 (93.51%) 総務費 1億3,730万8 (3.65%) その他 1億1,433万0 (3.04%) 合計 37億6,270万7 (100.00%)	歳出の内訳	事業費 1,781万0 (88.33%) 総務費 216万8 (10.75%) 予備費 18万5 (0.92%) 合計 2,016万3 (100.00%)
下水道会計	歳入の内訳	繰入金 18億0,857万9 (40.67%) 市債 17億4,240万0 (39.18%) 使用料及び手数料 3億9,592万2 (8.90%) 国庫支出金 3億7,000万0 (8.32%) 分担金及び負担金 1億1,593万2 (2.61%) その他 1,400万3 (0.31%) 合計 44億4,683万6 (100.00%)	歳入の内訳	繰入金 7,930万9 (90.57%) 使用料及び手数料 825万9 (9.43%) 分担金及び負担金 1 (0.00%) 繰越金 1 (0.00%) 諸収入 1 (0.00%) 合計 8,757万1 (100.00%)
	歳出の内訳	下水道費 24億4,039万3 (54.88%) 公債費 18億4,689万3 (41.53%) 総務費 1億5,855万0 (3.57%) 予備費 100万 (0.02%) 合計 44億4,683万6 (100.00%)	歳出の内訳	公債費 7,800万1 (89.07%) 農業集落排水事業費 921万5 (10.52%) 総務費 35万5 (0.41%) 合計 8,757万1 (100.00%)
簡易水道会計	歳入の内訳	繰入金 3億5,572万5 (39.69%) 使用料及び手数料 2億7,351万7 (30.52%) 国庫支出金 9,367万6 (10.45%) 市債 9,300万0 (10.38%) 分担金及び負担金 1,107万9 (1.24%) その他 6,931万9 (7.73%) 合計 8億9,631万6 (100.00%)	歳入の内訳	給水収益 6億9,350万0 (70.66%) 受託工事収益 1億2,622万0 (12.86%) 繰入金 9,171万8 (9.35%) その他 6,997万1 (7.13%) 合計 9億8,140万9 (100.00%)
	歳出の内訳	水道費 6億0,017万8 (66.96%) 公債費 2億2,293万9 (24.87%) 総務費 7,013万2 (7.82%) その他 306万7 (0.34%) 合計 8億9,631万6 (100.00%)	歳出の内訳	減価償却費 2億6,086万7 (26.58%) 原水及び浄水費 2億2,015万0 (22.43%) 支払利息 1億6,085万4 (16.39%) 総務費 1億5,957万4 (16.26%) 配水及び給水費 4,459万1 (4.54%) その他 1億3,537万3 (13.79%) 合計 9億8,140万9 (100.00%)
水道事業会計(資本勘定)	歳入の内訳	留保資金外 4億4,848万5 (39.96%) 企業債 3億5,000万0 (31.19%) 工事負担金 2億8,555万2 (25.44%) 出資金 3,828万1 (3.41%) 合計 11億2,231万8 (100.00%)	歳入の内訳	使用料及び手数料 6,358万5 (98.44%) 繰越金 100万0 (1.55%) その他 6 (0.01%) 合計 6,459万1 (100.00%)
	歳出の内訳	水道建設費 4億4,715万5 (39.84%) 企業債償還金 2億1,310万1 (18.99%) 配水設備改良費 1億8,039万0 (16.07%) 第2次拡張費 1億6,020万9 (14.27%) 営業設備費 33万8 (0.03%) その他 1億2,112万5 (10.79%) 合計 11億2,231万8 (100.00%)	歳出の内訳	総務管理費 6,359万1 (98.45%) 予備費 100万0 (1.55%) 合計 6,459万1 (100.00%)

黒駒山外8恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出予算

歳入 3,486万8

歳出 3,486万8

平成19年第1回定例会提出案件一覧表

賛成 反対

議案	種別	案件名	笛政ク	正鶴会	公明党	清新会	新和会	無所属	共産党
承認 1～4	専決 処分	一般会計補正予算（8号） 下水道会計補正予算（3号） 下水道事業会計補正予算（4号） 非常勤の職員報酬・費用弁償条例改正							
議案 1～5	条例 制定	副市長の定数条例（1人） 自治法改正に伴う市条例整備 八代南ふれあい公園条例 生涯学習コーディネーター条例、青少年育成コーディネーター条例							
議案 6～10	条例 改正	市行政組織条例改正 水道事業給水条例改正 国保税条例改正 道路法施行条例改正 公共物管理条例改正							
議案 11～20	補正 予算	18年度一般会計補正予算 " 国保会計補正予算 " 老人保健会計 介護保険会計 介護サービス会計 " 下水道会計 " 集落排水会計 簡易水道会計 " 温泉事業会計 水道事業会計							
議案 21～29	当初 予算	19年度一般会計予算 " 国保会計予算 " 老人保健会計予算 " 介護保険会計予算 " 介護サービス会計予算 " 下水道会計予算 " 農業集落排水会計予算 " 簡易水道会計予算 " 温泉事業会計予算							
議案 30～38	財産区	黒駒山、大積寺、稲山、牛ヶ額、大口山、崩山、名所山、春日山、兜山他五山（各恩賜林保護財産区会計予算）							
議案39	予算	19年度水道事業会計予算							
議案40	条例 制定	一般職任期付職員の採用条例							
議案 41～43	条例 改正	職員給与条例、職員特殊勤務手当条例、職員旅費条例							
議案 44～50	規約 変更	県市町村議会議員公務災害補償等組合 市町村自治センター、県市町村総合事務組合 東八代広域行政事務組合、東山梨行政事務組合 青木が原ごみ処理組合、釈迦堂遺跡博物館組合							
議案 51～54		市道の廃止、市道の認定、人権擁護委員の推薦、給食センター条例の改正							
同意 1～6	選任	春日山財産区管理委員、固定資産評価審査委員、稲山財産区管理委員、牛ヶ額財産区管理委員、大口山財産区管理委員、崩山財産区管理委員							
議員 発議		市議会会議規則の改正、市議会委員会条例の改正、公営企業部水道工事発注に係る代金未払い問題に対する意見書							

選挙結果

(平成19年3月12日選挙)

選挙名	選出者
甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員選挙	中村善次 風間好美 中川稔夫 龍澤 敦
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	中川秀哉
新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員選挙	中村庄吾 境川町藤袋2254-1 齊藤智雄 境川町藤袋118 布施孝夫 境川町藤袋4617 岩澤清文 境川町藤袋4685

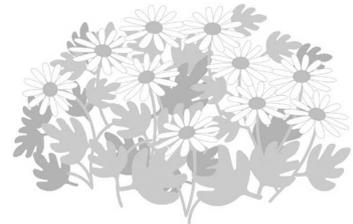
平成19年第1回臨時会提出案件一覧表

(平成19年3月29日開催)

議案	種別	案件名	賛成						反対	
			笛政ク	正鶴会	公明党	清新会	新和会	無所属	共産党	
議案55	条例制定	笛吹市特別職の職員等の給与の特例に関する条例の制定について								
議案56		工事請負契約の締結について								

工事請負契約

工事名	一宮西小学校屋内運動場建設工事
工事場所	笛吹市一宮町東原地内
契約金額	1億8,427万5,000円
契約の相手方	株式会社 早野組



議員提出・意見書

不適切な水道工事発注問題で 市長に意見書を提出

(意見書)

昨年12月、公営企業部の水道工事に関し、行政上あつてはならない、きわめて不適切な事務処理が続けられてきたことが判明した。このことは、市民の信頼のもとに支えられている市政を、市職員自ら失墜させたということであり、決して看過できない事態である。

公共工事は、市民の貴重な税金を、市民の安全、安心で快適な社会資本に提供することが目的であり、それだけに公正、公明、効率的に行われることが肝要である。

市長をはじめ管理、監督責任の地位にあるものは、議会の議決した予算を適正に執行することが義務づけられているにもかかわらず、これを多年にわたり見過ごしてきた責任は誠に重大である。市職員一人ひとりがこの事態を真摯に重く受け止め、公務員と

して自らその姿勢を正すとともに深く反省し、市民の不信や疑念を払拭するよう信頼回復に努めるとともに、再発防止策に全力で取り組まなくてはならない。よって、本市議会は市長に対し次のことを強く要望する。

- 1、問題の全容を速やかに市民に明らかにするとともに、徹底して情報公開を進めること。
- 2、責任の明確化と関係職員、業者に対し、厳正な対応を行うこと。
- 3、問題発生の原因となった事務制度の改善を図ること。
- 4、すべての市職員の意識改革を図り、法令遵守に徹すること。

平成19年3月20日

笛吹市長 荻野正直殿

笛吹市議会議員

中村 善次

3月
定例議会

代表質問

3月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ち、18項目について市当局の考えをたきました。以下は代表質問と答弁を要約したものです。

新和会

堀内文蔵議員8

公明党

川村恵子議員9

日本共産党

菅吹市議団10

亀山和子議員10

笹政クラブ

志村勢喜議員10

正鶴会

雨宮四郎議員11

清新会

井上一巳議員13

新和会

堀内文蔵 議員

問

4市共同焼却場・県最終処分場と
旧予定地の対応は

PFIにより運営を行なっている
ごみ焼却施設（埼玉県寄居町）
（写真提供：オリックス資源循環株）

堀内文蔵議員 菅吹市を含む4市共同ごみ処理場建設地を境川町上寺尾地区と決定し、甲府・峡東地区ごみ処理施設事務組合を設立、2014年度の施設完成を目指し、運営は甲府市長が中心となって行うとのことだが、国の補助金は建設費には出るが、運営費には出ないと聞く。最近では自治体が施設の建設・運営を民間企業に委託するPFI方式を採用する傾向が見られる

前建設候補地、御坂町八千蔵、八代町高家地区の5・5ヘクタールは4市で買い取り、別な活用方法を協議しているようだが、どのような話し合いをしていくのか。

答 PFI方式も
選択肢のひとつ

荻野正直市長 2月1日に県の設置許可を受けて「甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合」が発足した。組合には本市から職員2人を派遣し、他の3市と

が、市長はその点についてどう考えるか。

また、県は最終処分場も同地区にと表明し、地区説明も行い地元関係者と話し合いを進めている。下流の間門地区住民の理解を得るためには、安全性を含めて最大の努力が必要だが、市はどのように対処していくのか。

合わせ10人体制で本格的な事務事業が推進される。今後環境影響調査、地質調査、埋蔵文化財調査を経て施設の建設、さらに維持管理、運営にも多額な経費が必要となる。事業には国の交付金事業も含まれているが、運営費は対象外であり、経費節減に最大限の努力をしていきたい。民間の資金、経営・技術能力を活用したPFI方式は非常に魅力的で、有力な選択肢のひとつだが、導入については関係市、組合議会とも協議したい。

2月8日上寺尾地区から、公共関与による最終処分場の応募があった。この応募書類は市を経由して整備検討委員会に提出することになっているので、市は間門および中寺尾区に説明をし、議会へ報告、ご理解を得て整備検討委員会に提出したいと考えている。

御坂町八千蔵、八代町高家地区に対する行政の責任に関し、本市と甲府市は昨年11月11日に基本協定書を締結した。その内容は、候補地5・5ヘクタールを取得し、新ごみ処理施設の建設事業と並行して推進すること、他の関係市にも負担を求め、用地取得を円滑に進めるための関係市の協議会を新たに設置することである。4月にこの協議会

を設立すべく準備を進めており、設立後、具体的な活用方法について協議していく。

問

合併特例債の活用は

堀内議員 市は2年間で合併特例債19億円、一般財源1億円を加え20億円の長期国債を買って基金に積み立て、10年間凍結し、その金利を活用して旧町村の振興に充てる計画を発表したが、金利の動向、国の膨大な赤字国債を買い、長期間凍結にしているの考えはどうか。

合併特例法では、10年間に本市は総額380億円の合併特例債でハード事業と、ソフト事業の基金積み立てができるが、今後8年間に特例債を活用したハード事業は計画しているのか。

答

确实、有利な国債の
運用で地域振興を

荻野市長 東八代広域行政事務組合の基金残額8億6千万円を市が受け入れ、合併特例債の10億円と合わせて、市の地域振興基金として18億6千万円を保有している。19年度でさらに特例債で10億円を積み立て、計28億6千万円の運用益を地域振興事業に充てていく。低金利の現在、最も確実に有利な国債での運用をしていきたい。

今後の特例債によるハード事業は、検討中の市総合計画の実

施計画策定に合わせて検討していきたい。



公明党

川村恵子 議員

問 特別支援教育支援員の拡充を

川村恵子議員 学校教育法の改正により、教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒に対し、障害による困難を克服するための特別支援教育を行うことが位置付けられたが、笛吹市の現状と、今後の取り組みを聞きたい。

答 先進的に取り組みんでいる

芦原正純教育長 従来の「障害児教育」が本年4月から学校教育法の改正により「特別支援教育」として実施される。これまでに特殊学級などの場で指導してきたが、特別支援教育では対象範囲を広げ、障害もひとつの個性ととらえて、一人ひとりの教育的ニーズに配慮した適切な教育的支援に転換したものである。通常これらの対象者は全児童生

徒の6・3%とされており、本市の状況は対象者244人、うち特殊学級に在籍している者は82人、特殊学級は27クラスである。笛吹市はすでに特別支援教育に先進的に取り組んでおり、市担教員、介助員を配置している。19年度も引き続き配置していく。4月の本格実施に備えて、該当者の調査と実態把握を進め、個々にどのような支援をしているか計画を立案中である。

問 「早寝、早起き、朝ご飯」運動の推進を

川村議員 10時以降に就寝する子供が過半数、朝飯を食べない子供が小学生で15%、中学生で22%といわれる。文部科学省は親と子供の豊かな生活習慣を育てるため、早寝、早起き、朝ご

答 学校と親が連携して推進することが大切

芦原教育長 食育基本法が施行され、親子、学校が連携して健全な生活習慣を育てていく必要性が重要になっていく。市内の各校ともこの運動を取り入れて実施しており、小学校3年・5年生の生活アンケートによると朝食を毎朝食べるが88%、時々食べる11%、食べない1%。就寝時間はほぼ半数が9時から10時という結果であった。この運動の成否は家庭のあり方にかかっており、学校、家庭の連携を密にして推進したい。

問 妊婦無料検診の拡充を

川村議員 妊娠から出産までの妊婦検診は平均14回で、費用は1回5千円、血液検査を伴うと1万円から1万5千円かかり、健康保険も適用されないのが家計への負担は大きい。母子の健康と子育て支援のため、母子保健法の趣旨に沿って無料化の拡充を求めたい。

答 19年度に5回無料化を目指す

荻野市長 現在本市は2回の無料検診を実施しており、利用状況は17年度1、287人であった。本年1月、厚生労働省は最低5回の無料化が望ましいとの方針を示しており、本市としても19年度早期に実施を目標に準備を進めていく。

問 安心して子育てできる居住支援を

川村議員 19年度に創設される地域優良賃貸住宅制度により、公的賃貸住宅ストックの子育て世帯等の施策対象のミスマッチが解消された。公的賃貸住宅を

子育て世帯に対象を広げ、財政的支援により、子育て世帯への居住支援が大きく前進することが期待される。本市でも検討していただきたいが市長の考えはどうか。

答 施策の具体化を待って検討していきたい

荻野市長 この制度は国の予算が計上されたが、まだ実施要綱が定まっておらず、県からも具体的にはされていない。市としては策定中の総合計画の中で若者の定住、子育て支援の住宅整備、家賃補助など本制度の活用を検討していきたい。



市営住宅（春日居地区）



日本共産党笛吹市議団

亀山和子 議員

問 19年度予算の教育費・保育料を問う

亀山和子議員 19年度予算の教育費は前年度比でマイナス5%、3億4、300万円減っている。市の未来を担う子供の教育予算を減らすべきではない。特に社会教育費が23%減額された理由を聞きたい。

18年度は定率減税が半減になったため所得税が上がり、収入は増えないのに4月からの保育料が上がる心配がある。厚生労働省は現在の保育料が上がらないよう基準改定の通知を出したが、実際に保育料を決めるのは各自自治体であり、笛吹市は基準改定の用意があるか。

答 組織改革による人件費減が要因

予算減は

組織改革による人件費減が要因

芦原教育長 教育費の予算が減った要因は2つある。六地区にあった教育委員会の事務所が廃止されて各支所の地域課に編入され、職員人件費2億600

万円が減額されたこと、昨年度は境川総合会館の改修工事5、200万円があつたが、19年度は社会教育施設の大規模改修の予定がないことである。学校教育費は1億300万円の増額になっているが、この中には一宮

西小学校体育館の建設費1億5、900万円が含まれており、小中学校の維持管理費、教育振興費、消耗品費は前年度比5、700万円の減となっている。市内の小中学校20校、6、600人の児童生徒に平等、公平な環境、条件整備ができるよう、予算の配分には心を砕いていきたい。

内藤運富保健福祉部長 19年度の保育料に対する国の徴収基準額の改定が予定されており、19年度予算の成立後に正式決定される。市はこれを受けて保育料徴収規則の見直しを行い、多子世帯の軽減拡大も国に準じて実施していく。

内藤運富保健福祉部長

19年

問

芦川小中学校の継続を求める

亀山議員 芦川小学校は在籍児童15人、中学校も15人の計30人

だが、教職員、保護者、地域住民の多くが小中学校の継続を強く願っている。芦川では学校を核としてコミュニケーションづくりがなされてきており、芦川の学校教育と子供たちの学びや育ちの成果に自信と確信を持っている。芦川でなくてはできない教育の成果をどう評価しているか。山村留学廃止や区域外通学児の交通費助成廃止を決めた折も、民意を十分に汲み取ったとはいえないが、学校継続を望む民意を尊重するよう望む。



芦川小中学校

答

19年度に精査を進め20年度から新方針で

芦原教育長 明治6年以来の芦川小中学校の教育の成果は十分承知している。市内6、600人の児童生徒すべてを平等に扱う基本方針で、芦川小中学校も予算その他すべて平等に扱っている。児童生徒の数だけから言っても、小人数でこれまでできた



笹政クラブ

志村勢喜 議員

問 19年度予算の編成方針を問う

志村勢喜議員 厳しい財政環境の中で、19年度の財政運営の展望と、財源確保等の現状は。予算の枠配分という市長の政策的ポイントは、財政の効率化と、市民の要望を反映する執行につながったか。今後の方向性を聞きたい。

答 優先度を明確に施策の展開を図る

荻野市長 市民ニーズに応え、優先度を明確に施策の展開を図り予算を編成した。

合併以来の財政指標の変化と、19年度予算編成で設定した目標値は。財政健全化について市長の考えは。

税源移譲による市税の増加が、交付税や国庫補助の減少をどの程度補えるかを見極めながら、自主財源の確保が重要。歳出面では集中改革プランの着実な実行がコスト削減につながる。枠配分予算は、各部署の裁量



の強化と主体的な事業の展開を図り、成果の検証と見直しにより経常経費を抑制し、市民満足度の高い事業に重点配分できる。今後は事業評価を翌年度以降の予算編成に反映し、費用対効果の高い行政運営に転換していきたい。

財政指標の中で特に重要な実質公債費比率、17年度決算で14・2%だが、市債に国の許可が必要となる18%が基準値である。税源移譲により増額する市税の収納率アップと、自主財源主体の歳入構造に改めていくことが必要。集中改革プランによるスリム化の達成度を公表し、市民と一体となった改革を進めていく。

問 行政運営全般の方針を聞く

志村議員 総合計画の策定状況は、策定段階から市民と協働した情報公開が必要。

行政評価の導入への取り組みは、職員を意識改革への取り組みは、

笛吹市の一体感の創出に向けた取り組みは、

答 基本計画は12月議会に提案へ

荻野市長 20年度～29年度の

10年計画とし、市民アンケートをはじめ広く市民の意見を聞き、基礎資料の収集、分析をしている。今後総合計画策定本部で原案を作成、来年度は基本構想、基本計画案を審議会で審議していただき、パブリックコメントを実施して成案化し、12月議会に提案したい。

事業の成果を評価の基準とする行政評価制度の導入は大きな改革であり、工程が若干遅れているが、19年度以降さらに力を入れていきたい。

職員の意識改革なくして行革の達成は困難と認識し、職員研修、人事評価、自己申告、昇任・昇格制度、提案制度などの導入地域活動への参加、民間の経営感覚の習得などに取り組んでいる。

市のシンボル制定、各種機関や団体の一本化などで徐々に市の一体化も醸成されてきたと思う。市民と行政の協働によるまちづくりでさらに一体感を進めたい。

問 主要な施策の取り組みは

志村議員 観光施策と観光連盟の活動状況

農業と景観、観光産業との協働は

旧峡東病院の活用と改修費用都市再生、交通拠点整備計画教育と子育て支援（保育所指定管理・ファミリーサポート・学区等）

環境（ごみ減量、回収）
防災対策について

答 市観光連盟は法人化に向け検討

荻野市長 石和温泉駅、アクセス道路整備などは19年度実施に向けて進める。観光と果樹振興の有機的連携を図り、産業経済部は産業観光部に改める。市観光連盟は法人化に向け検討し、



旧峡東病院

各種キャンペーン参加など積極的に活動している。

J Aや農業関係者と連携し、「農業振興行動計画」「果樹産地構造改革計画」を策定し、都市に向けての消費拡大、観光産業と連携した市のPRを進めていく。

旧峡東病院の建物は耐震補強を施し、事務所として活用する。概算工費は5億5千万円が見込まれる。

石和温泉駅周辺整備事業を、まちづくり交付金事業として推進委員会を検討しており、今年度中を目途に基本計画を策定、19年度に国の要望採択、20年度から5年間で実施を目指す。

4月から石和第三保育所の社



正嶋会

雨宮四郎 議員

問 地域間の格差を問う

雨宮四郎議員 合併後2年4カ月、公的サービスやインフラ整備に地域間の格差を感じるという市民の声も聞かれる。

合併前の各町村の財政状況、

会福祉法人宮前保育園に指定管理がスタートする。今後も公立保育所の指定管理導入を進めていく。ファミリーサポートセンターを「ふれあいの家」内に設置し、19年度から実施する。

可燃ごみの量は減少しているが目標の53%減量にはさらに努力が必要。

防災計画に基づき市民への啓発、組織、施設の整備、物資・資材の備蓄、防災無線のデジタル統合化を進めている。発災時の職員初動体制、自主防災組織への補助などを進める。

芦原教育長 通学区域の再編は検討委員会に諮問し、現在保護者アンケートの分析に入っている。

行政運営の特徴と課題は、各町村の課題への取り組み状況は、

19年度予算では地域間のバランスにどう配慮したのか。

答 全市の視点で
市民サービスを進める

荻野市長 財政力指数で見ると、15年現在で石和町0・74、御坂町0・44、一宮町0・42、八代町0・37、境川村0・44、春日居町0・45、芦川村0・08であった。現在笛吹市の財政力指数は0・62で、南アルプス市が0・60である。15年度予算の特徴としては、石和、八代は教育費、御坂町は民生費、一宮町、春日居町、境川村は総務費の比率が最も多くなっている。

各町村の建設事業は合併前あるいは直後にほとんど終了していたが、課題および継続事業は市として取り組んでいる。

19年度予算では、福祉、農林土木、教育、上下水道など各分野で各地域の施設整備を予定している。優先度や年次計画で実施する関係で進捗状況に多少の偏りはあるが、特定地域に集中しているとは言えない。今後、も全市的視点に立った市民サービスに努めたい。

問 観光開発の
長期計画策定を

雨宮議員 市長は石和温泉駅が観光の玄関と言いが、中央自



中央道一宮御坂IC付近

動車道利用の観光客が3分の2であり、一宮御坂インターこそ笛吹市の表玄関といえる。インター周辺の整備、開発の考えはあるか。

県営金川の森公園は自然環境が豊かで、インターとも隣接し、観光開発には最高の条件である。県立博物館、石和温泉郷と結び、観光コース整備をめざし、金川の森周辺の開発について市長の考えはどうか。

宿泊客が翌日市内の観光地めぐりができることが大切である。長期展望に立った観光開発計画が必要ではないか。

答 国土施策創発調査
報告書を基に観光開発

荻野市長 一宮御坂インターは首都圏から1時間の自動車交通の玄関口であり、多くの観光農園が営業し、ぶどう祭り、ワイン祭りなど観光客誘致に努力している。金川の森公園は施設も整備され充実している。地区観光協会や営業者とも連携し、当面今あるものをどう結びつけていくか考えたい。

観光振興計画は現在策定していないが、16年度の国土施策創発調査報告書をもとに展開していきたい。

問 水道課職員の
人事配置は適正か

雨宮議員 水道課職員の工事無断発注、代金未払いの不祥事件は残念であり、再発防止の対策が必要だ。調査したところ、水道課の工事担当職員7人は就業時間外の作業が非常に多く、過酷な状態にある。近隣4市と比較しても、職員1人あたりの給水者数は笛吹市がはるかに多く、4市の平均を基準にすると42人の職員が必要となる。笛吹市は現在23人である。増員について市長の考えを聞きたい。

答 19年度増員の予定

荻野市長 職員の配置は行政需要、事務事業の執行方法や管理体制、組織機構の見直し等に合わせ、適正に行っており、水道課は24人の職員が業務に当たっている。19年度は職員の増員を予定しており、今後も事業の状況を精査し適切な人事配置に努める。

問 学校の安全対策と
危機管理体制は

雨宮議員 児童生徒の安全確保のため、各校のフェンス、植栽などの現状把握と、環境整備の考えはどうか。また防犯対策の

危機管理マニュアルの作成状況は。

答 耐震化は
20年度に完了

芦原教育長 市内の小中学校20校、90棟のうち耐震化率は90%以上で、20年度までにほぼ完了する。防犯対策としては、防犯カメラは10校、エリアサイレンは5校、未整備6校。閉じることのできる校門は11校、未整備9校。フェンスは全部整備済10校、一部整備8校、なし2校。植栽は伐採の希望はないが今後精査したい。危機管理マニュアルは全校で整備済みである。

問 農地転用申請の
状況は

雨宮議員 農地を農地以外の用途に転用するための、農地法第4条または第5条による申請件数は。

答 4条、5条合わせて
申請は188件

荻野市長 18年度は農地の所有者自ら転用する第4条の申請は36件で23、976平方m、事業者が農地を転用する第5条の申請が152件で1万4、005平方mであった。



清新会

井上一巳 議員

問 いじめ対策と心の教育は

井上一巳議員 学力低下、体力不足、いじめ、それによる自殺が後をたたない。安倍首相は就任後、初の所信表明の中で「教育再生」に取り組み、この深刻な現実に対処するため、内閣に早急に「教育再生会議」を発足させることを明らかにした。

「教育再生会議」は、第1次報告の最終案の7つの提言と5つの緊急対応、また本年度開催された日教組の第56次教育研究集会でも、いじめの問題が取り上げられている。県外では、市教委から独立した「いじめ対策支援室」を設けたり、「いじめなしの都市宣言」を行なった市も現れている。県内においても、教育4団体をはじめ、市町村教育委員会もこの問題に真剣に取り組んでいる。

いじめ問題は、永遠の課題であるとも言われているが、今議会初日、市長は本市の教育に触

答 訪問、相談で早期発見、迅速な対応

芦原教育長 小・中学校合わせて31件のいじめの件数が報告されている。

中学校には県担・市担のスクールカウンセラーを配置、小学校では担任教師を中心に児童指導の教師がその役割を果たしており、問題の早期発見、迅速な対応をしている。教育委員会では教育アドバイザーが各校を定期的に訪問して、問題解決へのアドバイスをし、「ひまわり相談室」に常時3人の相談員が学校、家庭の相談に応じている。

総合的学習や給食の時間、読書活動、動物飼育などを通じて食育、命の大切さなど豊かな心の教育を進めている。新渡戸先生が「武士道」で言われている自己責任、他者の配慮、義務の遂行という精神は、本市の教育の方針とも共通するものにとらえている。

井上議員 NHK「風林火山」の放映は、観光面で大きな影響を与えている。県風林火山博実行委員会

笛吹川河川敷観覧席



次の3点について伺う。本市の武田氏ゆかりの寺社を紹介し、誘客を目指す考えは。観覧席を活用し、新しいイベントをつくり出し、それを育てる考えは。

他県で観覧席を設けている河川名と、観覧席の規模とそこを中心に行なっているイベントは。

答 新イベントを検討する

荻野市長 武田氏ゆかりの寺社など12カ所を観光マップに作成、NPO法人やスコレー大学受講生などボランティアのご協力も得ながらPRに活用していきたい。

階段観覧席は延長500m、2、900席であり、これを有効に生かせるイベントを検討する。音楽祭もいいと思うが、市観光連盟や青年会議所など、市民の提案もいただきたい。

市川三郷町の神明の花火大会（富士川・4、900席）、東京都板橋の「いたはし花火大会」（荒川・1万8、900席）、「米沢上杉まつり川中島合戦」（山形県松川・1、200席）。その他諏訪湖湖上祭、ふくろい遠州の花火大会、足利花火大会などは仮設観覧席で開催している。

観光振興は市政の柱の一つ、

問 本市の観光振興と新設の観覧席の活用は

井上議員 NHK「風林火山」の放映は、観光面で大きな影響を与えている。県風林火山博実行委員会

3月
定例議会

市民の声

一般質問

3月定例市議会では、11人の議員が一般質問に立ち、17項目について市の考えをたきました。以下は質問と答弁を要約したものです。

渡邊清美議員	14
大久保俊雄議員	14
渡辺正秀議員	15
松澤隆一議員	16
山崎光世議員	16
山本富貴議員	17
石倉泰明議員	17
新田治江議員	17
日高せい子議員	18
前島敏彦議員	18
内藤武寛議員	19

問 色覚障害者に
カラーバリアフリー対策を

答 福祉計画の中で推進
学校では個別対応



渡邊清美議員
(公明党)

渡邊清美議員 男女合わせて23%存在する色覚障害者は、日常生活や学校教育の現場でさまざまな不便がある。平成15年から、差別やいじめにつながるとして色覚異常の検査が廃止され、色覚障害に対する意識が薄れることも懸念される。市のカラーバリアフリー対策について

考えを聞きたい。

内藤保健福祉部長 色覚障害者は全国で約300万人と推定される。差別や偏見をなくするため、入学時や就職時の検査は廃止されたが、デザインの分野では色覚障害者に配慮したさまざまな工夫がされている。本市では広報紙は白を基本としている。今後も地域福祉計画、障害者基本計画の中でバリアフリーの施策を展開していきたい。

高野あけみ教育次長 児童生徒の色覚検査は廃止されたが、学校としては、対象児童には個別の対応をとっている。

問 ふれあい個別収集
を提案

渡邊議員 ごみステーションに自分でゴミを出せない独り暮らしの高齢者などに対し、週一度くらい玄関先でゴミを収集し、併せて安否も確認する「ふれあい個別収集」を提案する。

答 地域全体の問題
として取り組みを

堀内正徹市民環境部長 市内の65歳以上の独り暮らし世帯は1,701世帯ある。社協の登録ボランティアにより、さまざまな居宅サービスをしているが、今後個別収集の必要な世帯が増えると思われる。対象者は各所に点在しているので、各地区役員や民生委員、社協などと連携して検討したい。地域全体の問題として取り組んでほしい。

問 職員の人材育成の
取り組みを問う

答 組織体制の整備と
自律的研修を強化



大久保俊雄議員
(笹政クラブ)

観光客増加のためには、さらに高度政策立案と、情報収集、PR・セールス活動が必要だ。19年度どのような具体策をとっているか。

石川光次総務部長 今回の不

大久保俊雄議員 汚職、裏金官製談合、飲酒運転など、公務員の不祥事件が続発し、住民の信頼を裏切っている。笛吹市でも残念ながら、3年間無断で水道工事を発注し、代金が未払いという事件が発生した。調査報告書でも、法令違反の有無、再発防止の具体的計画などは不十分である。市民の信頼を回復し、職員と組織のありかたを改善する上で最も重要なことは何か聞きたい。

職員の能力を最大限に引き出すための動機付け(モチベーション)にどのような方策、研修をとっているか。

職員の政策立案調整能力と、市民の要請に誠意をもって対応する応答性の強化にどう取り組

適切な事務処理を一職員の問題でなく、組織体制上の問題ととらえ、事務管理体制の強化と職員研修の充実に努める。組織内の職員が責任の範囲を一致させ、「計画・実行・検証・行動」のマネージメントサイクルと「報告・連絡・相談」を徹底したい。組織に緊張感を与えるため、情報公開でオープンな組織風土を作ることも重要だと考える。

自律的に能力を開発する参加型研修、昇任・昇格試験・人事異動自己申告制度、庁内公募制度、人事評価制度等により意識改革を図っている。

職員研修実施方針に基づき、全職員および階層別の自己啓発研修、キャリアマネージメント研修、政策形成能力養成研修を

実施し、自治体や民間企業への派遣など特別研修も実施している。

池田聖仁秘書政策室長 市とし

保坂利定産業経済部長 足湯を中心とした誘客施設は4月1日オープンを目指している。出店募集など、旅館組合とも連携して市のイメージアップと特産品のPR、「風林火山」とからむ観光キャンペーン、武田氏ゆかりマップの活用、海外からの誘客促進などを進める。産業經濟部を産業観光部に改め、観光商工課の組織改革も行う。

問 交付税の新しい支援措置にどう対応するか

大久保議員 今年度より政府は画一的な補助金ではなく、自治体の政策立案に重点を置いた「がんばる地方応援プログラム」を導入する。この制度は、行政改革指標、農業産出額、出生率など、9つの指標で改善が見られる自治体に、3年間9千万円の交付税プラス政策を掲げている。4月から募集が始まるので、観光農業振興・交流、まちなか再生、少子高齢化対策等早急に本制度の活用を目指すプロジェクトの立ち上げを強く要望するが、市としてどのように対応するか考えを伺う。

答 プロジェクト立ち上げ前向きに対応する

池田聖仁秘書政策室長 市とし

問 水道工事事件と、事業の見直しを

答 再発防止に努める

事業見直しも適切に実行



渡辺正秀議員 (日本共産党笛吹市議団)

てもすでに一部プランを検討している。新年度早々関係部局によるプロジェクトチームを発足させ、応募していきたい。

はすべて実施した」と回答しているが17年度決算では執行率は半分以上である。これも虚偽の報告では。

石川総務部長 今回の不適切な事務処理を心からお詫びしたい。

元課長の話は信憑性に疑問が残るが、調査委員会には法的な強制調査権がないので、聞き取りの内容をそのまま報告したものである。

その後調査した関係業者の証言からも事実と反していることは明らかだが、元課長の回答内容をそのまま報告したものである。今後は調査委員会の提言を尊重して再発防止に努めたい。

問 公営企業部事業で3つの見直しを

渡辺議員 公営企業部の下水道、簡水の3事業は74億円と莫大であり、一般会計からの繰

り出しも23億円である。これまでも見直しを求めてきたが、不祥事件が発覚した今、改めて3つの見直しを求め、見解と決意を聞きたい。

下水道は、合併浄化槽の併用もふくめ抜本的な見直しが必要

水道事業は需給見込みを明らかにし、琴川ダムと笛吹畑かん水の併用方針撤回をふくむ事業計画見直しを。

答 下水道受託水道工事の精査と見直しを

斎藤宏公営企業部長 今回の未契約水道工事問題に関して一部下水道工事に起因する受託箇所があった。調査委員会でも原因を調査し、公表している。

市の公共下水道事業は、県の流域下水道計画および甲府・山梨・甲州・笛吹4市が終末処理場を共有する関連事業に組み込まれており、市の計画変更は上位計画の修正になる。事業計画は生活環境の変化、財政状況により10年程度で見直しをしている。市の「清流の里」再生計画の中で合併浄化槽の併用はすでに実施しており、今後も経済比較により合併浄化槽を優先することも検討課題になる。

琴川ダム、笛吹畑かん余剰水の計19、660立方mを受水

しても必要計画配水量の45%程である。既存の地下水、湧水、表流水の活用、水質改善を含め19年度に市の水道事業基本計画を策定する。



問 行政区の要望に市の対応は

答 優先順位地域バランスを考慮し対応



松澤隆一議員 (正 鶴会)

松澤隆一議員 各地区からの要望事項は増えていると聞くが要望の件数とその内訳は。

今年度の地区要望件数と予算化された件数は。また要望結果をどのように地区に伝えているか。

緊急な要望事項処理の件数と流れ、施工された件数と、17年度の決算状況は。

市のやり方は縦割りであり、地域バランスに欠けているのでは。

荻野市長 地区の要望は精査して優先順位を決めて対応している。17年度から現在までの要望件数は延べ857件(令和18、御坂139件、一宮191、八代141、境川106、春日居90、芦川2件)。部門別では建設部土木課502、産業経済部農業土木課184、市民環境

年度23件、831万円の緊急工事を行った。市全体の長期的視野に立ち、

優先順位と、地域バランスに十分配慮して判断している。

問 春日居駅周辺まちづくりの
提言書への対応は

答 真摯に受け止め
住民と協働して対応していく



山崎光世議員 (無所属)

山崎光世議員 本年2月に、

「春日居駅周辺まちづくり推進検討委員会」から市長に提言書が提出された。公募による推進

委員会とは16年度から3年間、荻野市長との協約に基づく委託業務としてこの提言書を策定したもので、地区の将来像を「緑に

囲まれた駅と、周辺に桃畑が広がる樹園交流広場のような地区」と定義している。まちづくりの方針として

(1) 誰もが利用しやすい、個性のある春日居駅に改修する。(2) 全体の道路計画を立て、大幅な変更でなく、拠点機能を果たせる道路を整備する。

(3) まちの顔、拠点としての環境をつくる。駅周辺は樹園交流広場とし、降りたつと花が迎える駅にする。

(4) 地域の資源、桃のイメージを生かし、イベントによる交流と活性化を図る。

(5) 「観光プラス農業」で農業を元気にする。

の5項目を挙げている。住民の描いた夢をどう生かしていくのか、市長の対応を聞きたい。

道路計画の中で柳橋交差点から駅に通じる道路の進捗状況は。桑戸バイパスから中央道一宮御坂インターにつながる要望については。

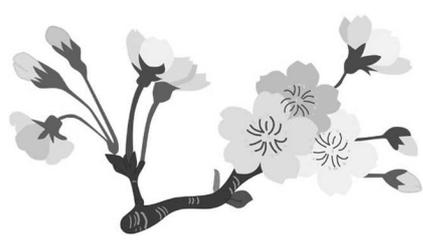
池田秘書政策室長 提言の方向性は本市のまちづくり計画と通ずるものであり、ありがたく真摯に受け止めている。現在策定中の市の総合計画の中で、行政が直接実施すべきものと、地域

住民の主體的な活動を支援していくものに区分けして取り組んでいきたい。

荻野市長 ソフト面に重点を置いた計画であり、「駅からハイキング」は昨年から実施していただいた。地域は住民自らつくっていくというモデルだと思う。ハード面は市の全体計画に取り入れ、ソフト面は市がフォローしていきたい。

芦沢憲一郎建設部長 国の補助事業として採択されるよう要望していく。

県では現在事業化されていないが、山梨市とも協議しながら県に働きかけていきたい。



問 駒沢川鉄橋の拡幅を要望

答 当面難しいが要請を続けていく



山本富貴議員
(笛政クラブ)

山本富貴議員 春日居町から石和町へ流れる駒沢川の、春日居中学校南側に中央線の鉄橋があり、川幅が5メートルなのに鉄橋は幅1・7メートルと狭いため、毎年鎮目、徳条地区は洪水に襲われている。国・県へ鉄橋の拡幅改修を要請してほしい。
芦沢建設部長 JRの線路橋架け替えを含めた全面改修は、予算的に難しいと県の回答があった。市としては当面河川内の雑草除去や浚渫で河川断面の確保を図るとともに、今後とも国・県およびJRに改善を要請していきたい。

問 西山開発のその後は

山本議員 大蔵経寺山、兜山の遊歩道建設など、西山開発のその後について聞きたい。

答 ハイキングコース整備を進める

保坂産業経済部長 山梨百名山

問 国際交流と地域間交流の方針は

答 新たな交流方針案をまとめた



石倉泰明議員
(正鶴会)

石倉泰明議員 合併に伴い市の国際交流はドイツ、中国、また地域間交流では7町それぞれ友好市町村がある。今後国際交流はどのように進めていくのか。

費用はどのようにするのか。地域間交流は今まで通りすべて進めるのか。

池田秘書政策室長 旧石和町と交流のある、ドイツのパートナー・ハイム市とは、合併後もホームステイなど活発な交

の兜山と大蔵経寺山を結ぶハイキングコースの新設事業を、県の「富士の国やまなし観光施設整備事業」の2分の1補助を受け進めている。延長900メートルを120センチに拡幅、整地、階段、標識設置などで事業費は500万円である。

流が続いており、交流15年誌の作成も準備している。19年度には市議会議員を中心に30人程度で親善訪問し、地方自治や環境への取り組みを学ぶ予定。費用は参加者の負担および市の予算で支出する計画である。中国の肥城市との交流も続いており、昨年7月には友好訪問団を迎え、両市の農業や観光業を発展させるための交流促進を確認した。フランスのニユイ・サンジヨルジュ市は、ここ数年は年賀状の交換程度にとどまっております。今後の交流は検討中。

合併前の7町村の国内交流も継続しているが、解消したのものもある。今後の方向性としては市民間の交流であること、既存の交流にこだわらず新たな対象

問 学校給食費の未納問題は

答 各校での徴収方式に統一したい



新田治江議員
(清新会)

新田治江議員 市職員の学校給食費未納など、この問題が全国的に取り上げられ、石和中学校の文書配布の件も報道されたが、その後改善は見られたのか。現在の未納状況は。徴収方法、管理は統一されているのか、未納世帯への対応策を聞きたい。

また、各校で徴収する方法は教職員の負担や家庭、子供への影響が心配されるが、徴収員の配置は考えられないか。
高野教育次長 市内各校の17年度末の未納金は110件、440万円、18年度は1月末現在340件、410万円だが、これからかなり減ると思う。職

も模索していく、協定を結ぶものではないものの二通りとし、協定を結ぶ場合は姉妹都市でなく友好都市とする方針(案)をまとめた。

問 男女共同参画推進条例の制定を

新田議員 男女共同参画推進条例の制定を求める声が強く、笛吹プランの中にも掲げられている。庁内の推進体制はどうか。19年度の地域づくり推進事業の中に男女共同参画が組み入れら

れないか。市長のリーダーシップを望む。

19年度推進都市宣言

答 条例化も検討

池田秘書政策室長 条例制定は有効だと思う。市は19年度に議会と協議して男女共同参画都市宣言を目指している。旧町村に

問 特別支援教育の実施体制整備は

答 積極的に準備を進めている



日高せい子議員
(清新会)

日高せい子議員 学校教育法が改正され、19年度から現在の言・ろう・養護学校の区分をなくし、特別支援学校として小中学校の特別支援教育を進めることになった。特別な教育ニーズを持った人々は、そのニーズに見合った教育を普通学校で行えるようにするという考え方に基づくものだが、本市の実施体制整備はどうか。

高野教育次長 笛吹市はすでに県内でも先進的に取り組んでいる。

より取り組みに差があるが、地域学習会など開催して推進を図っており、今後条例制定も検討していきたい。地域づくり推進事業は、地域の主体的な活動を推進し、気運を盛り上げるのが目的であり、市民活動が推進を掲げるならば組み入れていくことも考えられる。

る。平成17年度から障害のある子供が在籍する学校支援のため市担教員、介助員を配置している。本年4月の本格実施に向けて、該当者の調査、実態把握と並行して、県の専門家等にも相談しながら、個々の支援計画を立案中である。

問 山村留学の廃止は再検討が必要では

日高議員 山村留学は、17年度で全国の104市町村が実施しており、「生きる力」を育み、農山村の再生の可能性を秘めるものの一つでもある。合併前の

自立促進計画にも山村留学による交流人口の増加の必要性が記述されていたが、合併してわず

か8カ月で早々に廃止になったのは残念。もう一度、芦川地区の住民の皆さんときちんと議論をすべきではないか。

答 原点からの見直しが必要

高野教育次長 すべての子供に平等な教育を受けさせる、あらゆる学校の平準化が笛吹市誕生以来の基本であり、19年度から旧芦川村が加入していた山村留学協会から脱退し、山村留学も廃止し、これにかかわる補助制度も見直しをしていくことになった。芦川地区内から路線バスで通学している児童生徒へのバス代助成は従来通り続ける。

芦原教育長 全国でも山村留学の廃止が相次いでいる。なかなか定住に結びつかないとか、経費の問題もあると思う。南アルプス市も今年度廃止している。荻野市長 芦川の地域の方々の話し合いもして、廃止の結論が出ています。芦川が好きで、芦川をどう育てていくかということと来ていただくのならまた別だが、現在はその焦点がちよつと違っていると思う。原点から考え直す必要があると考える。

問 高齢者福祉にどう取り組む

答 支援センターの機能強化を図る



前島敏彦議員
(笛政クラブ)

前島敏彦議員 笛吹市の今後の高齢者福祉対策について聞きたい。今年度スタートした市の包括支援センターの充実こそ市の理想だと思う。今後どのようにセンターの機能充実を図っていくのか。

高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って暮らせることが重要だが、老人クラブに対する今後の支援は、活動拠点の設定に配慮を望みたい。

高野教育次長 高齢者の健康維持には、年齢に合った適度な運動、疾病予防、食育などが必要と思うが、市の対応はどうか。

内藤保健福祉部長 18年度は市の保健師と社会福祉法人からの人材派遣により、専門職員9人体制で業務を行っている。19年度は市採用の社会福祉士を配置して職員体制を整え、要支援要介護の恐れのある特定高齢者

の介護予防事業、軽度の要介護者の介護予防プラン作成、ケアマネージャーへの支援、権利擁護や相談業務を充実させていきたいと考えている。

114クラブ・5、300人の老人が、健康づくりや地域の奉仕活動に取り組んでおられ感謝している。市は活動費の補助をしており、18年度は戦争体験記作成費の補助もした。19年度は市の老人クラブ連合会の活動に対して、当初予算で支援の強化を予定している。自立活動の中心となる連合会の拠点設置を考えた。

基本健診や各種検診をはじめインフルエンザの予防接種を実施している。18年度はシルバートレーニング養成事業、温泉利用の健康づくり事業を実施した。特定高齢者の運動機能向上教室、栄養改善教室、口腔機能向上教室も開催し、食育では高齢者料理教室等の事業を行っている。現在策定中の健康増進計画では生活習慣病の改善目標数値を設定して高齢者の健康づくりを一層推進したいと考えている。

問 やすらぎ空間（ホテルの里）整備で
新しい観光スポットを

答 積極的に支援していきたい



内藤武寛議員
(新和会)

内藤武寛議員 ホテルの飛び交う里を取り戻そうと、市内各地で地元有志が取り組んでいる。御坂町の「みさかホテルの会」が桃源郷公園のホテル池で、八代町では「稲山ホテル銀河の会」が四ツ沢川で、境川町でもホテルを見る会をつくって意欲的に活動している。「桃・ぶどう日本一の郷」「石和・春日居温泉郷」をPRしていく上でも、ホテルの舞うやすらぎの里をつくることで、更なるイメージアップにつながると思う。新しい観光スポットづくりとして、また地域活性化や振興策として行政の支援が必要ではないか。

保坂産業経済部長 八代の四ツ沢川、御坂、境川など各地域の自主的な活動を支援している。四ツ沢川では昨年大量の発生が期待されたが、大雨の被害で少

規模になった。農林水産省が事務局となって設置された「農村景観応援団」は、昨年に続いて今年も八代町岡地区の公民館で地元との話し合いを予定している。市は農政サイドから地元の活動を助成しており、四ツ沢川上流区域の地形調査を実施している。ホテルの生息できる環境づくり、特に水路の整備が必要であり、補助制度も研究して地元の活動を積極的に支援していきたい。

荻野市長 昨年は250万円ほど予算措置をした。今年は農村景観応援団の事業、がんばる地域応援事業のいずれかを導入して、年間3千万円くらいの補助が受けられる事業ができないか検討している。



合併特例債ってなに？

市町村が合併して、まちづくり推進のため市町村建設計画に基づいておこなう事業や基金の積立に必要な経費について、合併年度を含め10力年度に限り、その財源として借り入れることができる地方債のことをいいます。

特例債が充当できるものは、対象となる事業費のおおむね95%で、更にその元利償還金の70%が普通交付税によって措置されます。

合併特例債に該当する事業としては、次のような事項があげられます。

合併市町村の一体性の速やかな確立を図るために行う公共的施設の整備事業

(例) 旧市町村相互間の交流や連携が円滑に進むような道路、橋梁、トンネル等の整備

合併後の市町村の住民相互が集う運動公園等の整備

合併市町村の均衡ある発展に資するために行う公共的施設の整備事業

(例) 合併後の市町村内の行政サービスの水準の均衡を図るため、介護福祉施設が整備されていない地区への施設の整備合併後の市町村全体としてのバランスのとれた発展を図るため、同一内容の施設の重複を避けておこなう施設の整備

合併市町村の建設を総合的かつ効果的に推進するために行う公共的施設の総合整備事業

(例) 類似の目的を有する公共的施設を統合する事業

合併市町村における地域住民の連帯の強化または合併関係市町村の区域であった区域における地域振興等のために設けられる基金(合併市町村振興基金)の積み立て

(例) 市町村の一体感の醸成に資するものとして、イベント開催、新市町村のCI、新しい文化の創造に関する事業の実施、民間団体への助成

旧市町村単位の地域の振興として、地域の行事の展開、伝統文化の伝承等に関する事業の実施、民間団体への助成

コミュニケーション活動・自治会活動への助成、商店街活性化対策

合併市町村では、道路新設改良整備、農業施設整備、消防施設整備、児童館整備などに使われています。

「コーポレート・アイデンティティ」の略。

組織のイメージや理念の統一を図るための、デザインやキャッチフレーズ、コピーなどをいいます。

CI

「コーポレート・アイデンティティ」の略。

組織のイメージや理念の統一を図るための、デザインやキャッチフレーズ、コピーなどをいいます。

総務 常任委員会

条例・規約改正案を審議し、全議案を原案通り可決した。

おもな質疑

【条例】

任期付職員の採用にかかる条例制定

Q 任期付職員、特定任期付職員と、現在採用されている臨時職員、嘱託職員の違いは。

A 任期付職員は、システムエンジニア等の技術を有する職員を、複数年の任期を定めて採用するもの。特定任期付職員は、大学教授、公認会計士等の高度な技能を有するものをいう。現在の臨時職員は1年間という期

限を定めた期間採用であり、それ以上の継続雇用ができない等の制限があり、今回の条例改正とは別である。

【補正予算】

Q 消防施設費で、今年度施工した貯水槽の数および来年度の要望数は。

A 本年度施工は3カ所、18年度の要望は14件。

Q 市営バスの補助減額の内容は。

A 前年度実績で利用件数が伸びなかったため。

【十九年度一般会計予算】

Q 民間企業研修への計画と昨年度の成果は。

A 昨年度の参加職員は主幹職の30人で二回実施。終了後参加職員からレポートの提出を受けた。成果は今後の市民サービス向上につながると思われる。

Q 災害時のマニュアルおよび指揮命令系統の徹底はなされているか。また各地区の災害マニュアルと体制は。

A 本庁・支所だけでなく、職員の所在地域などを元に災害時の初動体制は整えている。職員が災害時に適切な行動ができるよう訓練を進めている。地域の災害マニュアルも作成し、区長会等で説明した。

Q 最近、情報流出が問題にな

っているが、市の対策は。

A 市のセキュリティポリシーを昨年作成し、情報管理は情報セキュリティ委員会が検討している。最近ニュースになっているソフトは、基本的に使用を制限している。

Q 市の起債総額660億円の

教育厚生 常任委員会

おもな質疑

【保健福祉部所管】

Q シルバー体操指導員の資格取得方法、活動内容は。

A 市独自の事業で、講習会終了時に終了証を交付している。今後は各地の「やってみようじゃん」等に参加し、高齢者の体操指導などをしていく。

【市民環境部所管】

Q 後期高齢者医療制度の創設に伴う補正予算の内容は。

A 国保税の徴収方法の変更は、システムの開発および変更のため。65歳以上の単独世帯の徴収方法の変更。

うち、一般会計の公債費比率、起債制限比率など起債の健全性は。

A 一般会計の起債比率は14.2%で、国の基準18%を下回り、概ね健全な財政運営である。三位一体改革の税源移譲により市民税の税収見込みが大幅に増え

(反対討論) 国の制度改正により市の一般会計からの負担が多額になっており、もつと国の負担があつて然るべきだ。

Q ごみ減量53%の目標達成の方法と現状は。

A 生ゴミの減量が不可欠である。堆肥づくりの団体育成、分別収集、各種モデル地区の設定など推進していきたい。

【教育委員会所管】

Q 新設の生涯学習コーディネーターおよび青少年育成コーディネーターの活用は。

A 県内初めての制度であり、時代に即応し市民ニーズに添える活動をしていく。

【一般会計・特別会計予算】

Q 市内の温泉施設が指定管理になったが、その後の運営はどうか。八代町竹居の源泉は来年度に費用が計上されているが。

A 温泉給排水工事を計画しており、地元の意見を聞きながら

た。

(付帯意見) 補正予算の旧峡東病院改修委託費の増額は、予算としては認めるが、事業内容は今後検討し、執行が困難と認められた場合は予算の執行は行わないこと。

有効利用していきたい。

【保健福祉部所管】

Q 地域ぐるみ子育て支援事業の進め方は。

A 担当課で企画し、NPO法人や子育て支援団体の協力を得て実施していく。

Q 笛吹中央病院への補助金計上は。

A 補助要綱に基づいたものであり、安定した地域医療の確保のためと、災害拠点病院に対処計上した。

【教育委員会所管】

Q 石和文化スポーツ振興財団の方向性は。

A 今後、設立の趣旨を尊重しながら、市民全体の財団として活動できるよう検討したい。

(意見) 福祉タクシー券の初乗り乗車券は、障害者が利用しやすい条件整備が必要である。

(意見) 小中学校の緊急必要な修繕費等は、予算の範囲内で使用できる体制も必要である。





建設経済 常任委員会

おもな質疑

- Q** 指定管理している直売所や農産物加工所などの施設の修繕費の基準は。
- A** 少額の修繕は指定管理者が行う。基準はおおむね十万円を目途に、協定書に定めてある。
- Q** 道路整備に伴う未登記土地の処理は。
- A** 工事を行う個所は随時処理している。全体は航空写真で調査し、年次計画を立てて実施していく。
- Q** 水道工事の書類不備の工事代金の支払いは行つのか。
- A** 補正予算には計上してある

が、書類が整わなければ支払いはしない。

Q 水道料金の未納が年々増加しているが、対策は。

A システムが構築されていないため、資料作成、確認等に時間がかかっている。現在は督促や電話で行っているが、システム構築後徴収の方法を検討し、未納額の縮減に努めたい。

【一般会計・特別会計・企業会計予算】

Q 出荷用段ボールへの「ぶどう日本一の郷」のロゴマークは共選所から出荷するものだけに付けるのか。

A J Aとの協議により決定されたものであり、共選所系統外の出荷物は対象にしていない。

Q 観光連盟の活動状況は。

A 本年度は職員を派遣した。来年度は観光商工課の分室を観光連盟に置き、平成20年度に法人化の申請ができるよう事務を進めていく。現在観光連盟の役員会で、自主運営ができるような方策を検討している。

Q 市営住宅の老朽化した個所は、事故などが懸念されるが、建て替えの計画はないか。

A 住宅マスタープランを立てる中で検討していきたい。

Q 水道料金の統一を含めた見直しを二十年度に行うとしてい

るが、方向性について検討しているのか。

A 利用者負担を原則とし、琴川ダムや畑かんの水利用も踏まえて意見聴取しながら財政計画の中で検討したい。

(意見)ぶどう日本一の郷になるのは大変なことであり、これ

を有効に使うには、補助金ではなく、政策として検討すべきではないか。

(意見)指定管理施設の修繕費の費用負担については、すべての施設を対象に検討してほしい。

視察研修報告

【議会研修】

2月8・9日、埼玉県寄居町の民間ごみ処理施設と、鶴ヶ島市議会を視察研修しました。このごみ処分場は

一般廃棄物、産業廃棄物などすべての焼却ごみを溶融化し、環境破壊になるダイオキシン発生を極限まで抑えています。

最終的に排出される焼却灰は、工事現場などで使う資材として活用するため、現在価格の調整をしているところです。

訂正とお詫び

第9号、5ページ、4段目、名所山恩賜県有財産保護財産区管理会の氏名のうち、中村庄吾委員の氏名が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。

(誤)中村庄吾 (正)中村庄吾

笛吹市内でも処分場建設計画が進んでいます。周辺への影響について調査し、環境負荷を軽減するために最新の施設を建設する必要があります。また運営を民間に委ねるのかということも含めて、たいへん参考になる視察でした。これからはごみを出さない努力が必要であり、笛吹市が進めている「ごみ減量53%」をさらに推進する必要があります。4月からは一部事務組合も始動し、本市からも正副議長を含め4人の議員が選出され、建設に向けてスタートします。市民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

【市議会広報】

2月6日、全国市議会議長会で広報編集委員会の視察研修を行いました。全国から送られてくる市議会広報誌の内容、紙面構成、発行期間など、本市との違いなどについても貴重な勉強になりました。これを参考に、今後発行期間の短縮をはじめ、親しまれる広報づくりに邁進したいと思っております。



笛吹川の河川敷に観覧席が完成しました。 規模や使い方など、どのように考えていますか？

笛吹市役所に聞いてみました。

Q 今年はNHK大河ドラマ「風林火山」が好評で、「甲斐の国風林火山博」も賑わっています。笛吹川の観覧席も、大勢のお客様が期待できますか？

A 観覧席は、階段状で延長500メートル、2,900席あります。さっそく「川中島合戦戦国絵巻」で活用したり、石和温泉祭りの花火大会（有料）などでも、お客様に使っていただきたいと思います。大河ドラマ「風林火山」が好評なので、笛吹市にも大勢のお客様に来ていただくよう、市では考えています。

Q どのような行事に使われるのでしょうか。

A せっかく造った施設ですので、限定されたイベントだけでなく、観覧席を生かせるイベントを企画するなど、観光連盟や青年会議所、市民の皆さんからもアイデアを寄せていただきたいと思います。

他県では仮設の観覧席が多いのですが、笛吹川河川敷の階段観覧席は常設なので、多くの皆さんにも喜んでいただけると考えています。

みなさ～ん！
市役所に聞きたい
ことをぜひ送ってね！

編集委員会よりお知らせ

笛吹市に関する疑問や聞きたいこと、日ごろ感じていることなどを、ぜひお寄せください。編集委員会では、市民の皆様のご意見を大切に、今後の議会活動に役立てていきたいと思います。

送り先
笛吹市石和町市部777
笛吹市役所内
笛吹市議会だより編集委員会あて
FAX 055-262-4115



石和温泉祭り花火大会



笛吹権(ごん)ちゃん

議会を傍聴 しませんか

笛吹市議会第2回（6月）定例会は、6月8日より21日まで、八代分庁舎議場で行われる予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。

年度末、そして年度始め、別れと出会いが慌しく過ぎてゆく季節です。そんな中、わたくしたち議員も卒業式、入学式に出席する機会をいただきました。保育園児から小学生、中学生までそれぞれの成長過程をうかがい知ることができ、忘れかけていた子育てのときの気持ちを呼び起こしてくれ、ますますに、子どもたちの凜とした表情と輝いた瞳に出会ったときは、議員としても身が引き締まる思いで、勇気と新たな決意の機会をいただきました。

さて、笛吹市はこれから花の咲く季節を迎え、祭りがたくさんのお客様を迎える事になります。わたくしたち一人ひとりが、日々の生活を大切にしながら、十分なおもてなしの気持ちを持ってほしいものです。その積み重ねによって、リピーターのお客様も増え、果実の美味しさ、歴史の奥深さを知っていただけるのではないかと考えています。

今回の議会だよりはできるだけ早く、皆様のお手元に届くように紙面構成を少し変えました。お気づきの点があればご一報ください。話し合いを重ね、読まれる紙面づくりに努力していきます。

(日高せい子)



笛吹市議会だより No.10

〒406-8510山梨県笛吹市石和町市部777
TEL.055-262-4111(代)FAX.055-262-4115
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>



笛吹市議会だより No.10 22